

特別な編み方と基本技術

ここでは、シャーロット・ユニバースCAL 2021で使われる特別な編み方を写真付きで紹介しま
す。シャーロット・ユニバースを編むときに参照してください。



説明する内容のすべてを、今すぐに読む必要はありません。毎週公開される *It's All in a Nutshell* の[ビデオチュートリアル](#)でも詳しく説明されます。

リソース～重要な情報

- ・ シャーロット・ユニバースについて ([英語](#) [日本語](#))
- ・ ラベリーのシャーロット・ユニバース ([英語](#))

略語 Abbreviations

(訳註) 日本語の編み物の本では、たとえば「長編み」を略して「長」のように表記することはありませんが、英語圏では、Double crochet (「長編み」) をDcと略して表記します。日本語版では、編み図のなかで、略語を使用することがあります。

- ・ **Beg** - 編みはじめ
- ・ **BLO** - Back loop onlyの略。前段の目のバックループにのみ編む
- ・ **BP** - Back postの略。裏引き上げ編み（指定された目の裏側から表側にかぎ針を挿し入れて、指定された編み目を編みます）。
- ・ **Ch** - 鎖編み
- ・ **Dc** - 長編み
- ・ **Dc2tog** - 長編み2目一度
- ・ **Dtr** - 三ツ巻長編み
- ・ **FP** - Front postの略。表引き上げ編み（指定された目の表側から裏側にかぎ針を挿し入れて、指定された編み目を編みます）。
- ・ **Hdc** - 中長編み
- ・ **RS** - Right sideの略。表面を上にして編みます。
- ・ **Sc** - 細編み
- ・ **Sl st** - 引き抜き編み
- ・ **SM** - ステッチマーカー
- ・ **Sp/sps** - 鎖編みでできるスペース
- ・ **St/sts** - 目
- ・ **Tr** - 長々編み
- ・ **WS** - Wrong sideの略。裏側を上にして編みます。

区切り記号 Punctuation

* 繰り返しを表します。*と*の間に書かれた指示を、指定された回数分繰り返します。これは一番上のレベルの繰り返しで使われ、*で囲まれる内側には、通常、複数の指示が記載されません。

括弧 () 繰り返しを表します。() 内に書かれた指示を、指定された回数分繰り返します。一番下のレベルの繰り返しになります。() 内には、指定された目や鎖編みスペースに編み入れる、編み目のグループが書かれます。

大括弧 【 】 ひとつの目や鎖編みスペースに対して【 】内に書かれた目を編みます。() を使うとわかりにくいときに使われます。

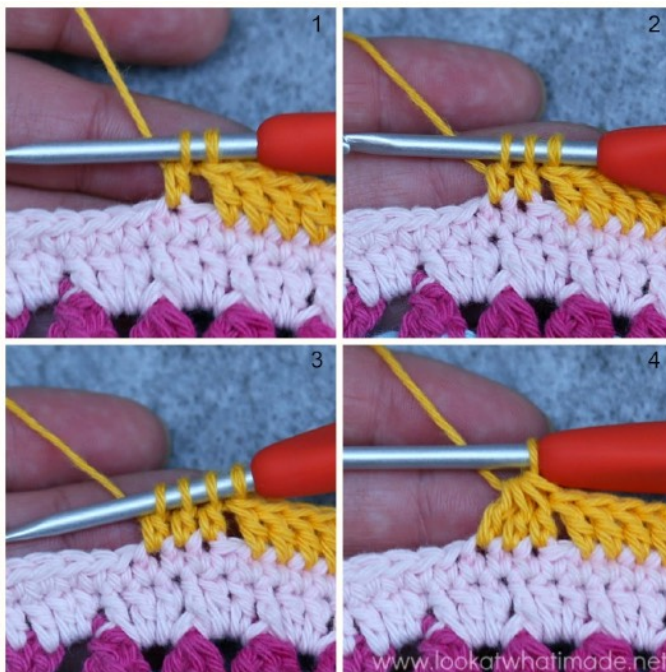
中括弧 { } は、詳しい情報や参照する写真などを示すときに使われます。

特別な編み方

長編み3目の玉編み 3-dc Cluster Stitch

この編み方は、長編み3目一度 (dc3tog) と呼ばれることもあります。

1. かぎ針に糸をかけて、指定された目 / スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く {かぎ針に3本のループ}。糸をかけて、2本のループを引き抜く {かぎ針に2本のループ}。
2. かぎ針に糸をかけて、次の目 / スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く {かぎ針に4本のループ}。糸をかけて、2本のループを引き抜く {かぎ針に3本のループ}。
3. かぎ針に糸をかけて、次の目 / スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く {かぎ針に5本のループ}。糸をかけて、2本のループを引き抜く {かぎ針に4本のループ}。
4. かぎ針に糸をかけて、4本のループをすべて引き抜く。



長々編み3目の玉編み 3-tr Bobble

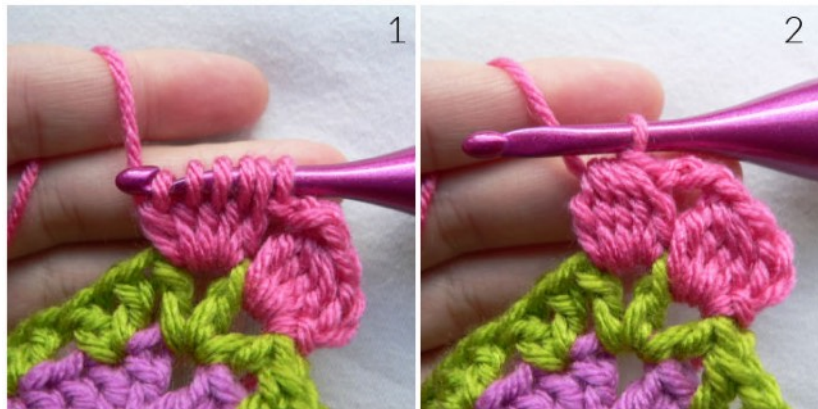
1. かぎ針に糸を2回かけて、指定された目 / スペースに入れる。
2. かぎ針に糸をかけて、引き抜く。(糸をかけて、2本のループを引き抜く) ×2回 {かぎ針に2本のループ}。
3. かぎ針に糸を2回かけて、同じ目 / スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く {かぎ針に5本のループ}。(糸をかけて、2本のループを引き抜く) ×2回 {かぎ針3本のループ}。
4. かぎ針に糸を2回かけて、同じ目 / スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く {かぎ針に6本のループ}。(糸をかけて、2本のループを引き抜く) ×2回 {かぎ針4本のループ}。
5. かぎ針に糸をかけて、4本のループをすべて引き抜く。



長々編み5目の玉編み 5-tr Bobble

長々編み3目の玉編みと同じように編みますが、未完成の長々編みを3目から5目に増やします。

1. かぎ針に糸を2回かけて、指定された目／スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回 {かぎ針に2本のループ}。*かぎ針に糸を2回かけて、同じ目／スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。* *~*を3回繰り返す。かぎ針には6本のループがかかっている。
2. かぎ針に糸をかけて、6本のループをすべて引き抜く。



長編み交差編み Crossed Doubles

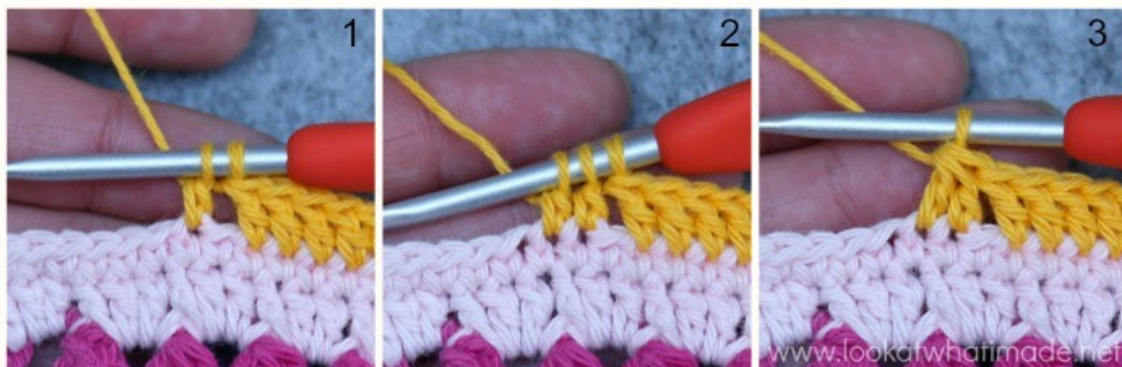
1. 次の目を飛ばし、その次の目に長編み1目を編む。
2. 前に編んだ長編みを覆うように、飛ばした目に長編みを編む。



長編み2目一度 Dc2tog

1. かぎ針に糸をかけて、指定された目／スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く {かぎ針に3本のループ}。糸をかけて、2本のループを引き抜く {かぎ針に2本のループ}。
2. かぎ針に糸をかけて、次の目／スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く {かぎ針に4本のループ}。糸をかけて、2本のループを引き抜く {かぎ針に3本のループ}。
3. かぎ針に糸をかけて、3本のループをすべて引き抜く。

表引き上げ編み 長編み2目一度を編むときも、かぎ針を指定された縦のポストに表から裏に入れる以外は、同様に編みます。



中長編み2目一度 Hdc2tog

かぎ針に糸をかけて、指定された目／スペースに入れる。かぎ針に糸をかけて、引き抜く。かぎ針に糸をかけて、次の目／スペースに入れる。かぎ針に糸をかけて、引き抜く。かぎ針に糸をかけて、5本のループをすべて引き抜く。

長編み2目一度と似ています。

未完成の長々編み2目玉編み

Partial 2-tr bobble

かぎ針に糸を2回かけて、指定された目／スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。かぎ針に糸を2回かけて、同じ目／スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。



未完成の長々編み3目の玉編み

Partial 3-tr Bobble

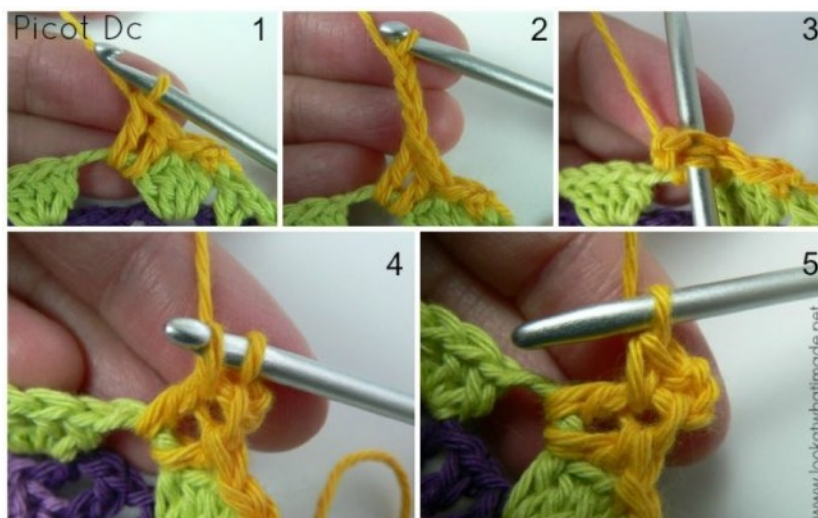
かぎ針に糸を2回かけて、指定された目／スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。*かぎ針に糸を2回かけて、同じ目／スペースに入れる。糸をかけて、引き抜く。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。* *~*を繰り返す。



ピコット付き長編み Picot Dc

1. 長編みを1目編む。
2. 鎖3目。
3. 長編みの頭に細編みを編んでピコットをつくる。
4. この手順は、最初に編んだ長編みの頭の両方のループに、横側からかぎ針をいれ、

5. 細編みを完成させる。



パプコーン編み Popcorn Stitch

1. 指定 された目／スペースに長編み5目を編む。
2. かぎ針を最後の長編みからはずし、長編み5目の最初の長編みに入れ、はずしておいたループをかぎ針にかける。
3. そのままループを最初の長編みから引き抜く



続く段でパプコーン編みに編むときは、長編み5目グループの最初の長編みの頭に編み入れます。



パフ編み Puff Stitch

かぎ針に糸をかけて、指定された目／スペースに入れ、糸をかけて、ループを長く引きあげる。（かぎ針に糸をかけて、同じ目／スペースに入れ、糸をかけて、ループを長く引きあげる。）×3回。かぎ針に糸をかけ、9本のループをすべて引き抜く。最後に鎖1目を編む。

写真による説明は[こちら](#)（英語）



Roses バラの編み方

93段目の最初で説明します。

Split 2-tr Bobble

113段目の最初で説明します。

Split 3-tr Bobble

41段目と113段目の最初で説明します。

Vステッチ V-stitch

（長編み1目、鎖1目、長編み1目）を指定された目／スペースに編み入れます。



基本技術

ゲージ

サイズが決まったものをつくる時にはゲージは重要です。ブランケットのように、出来上がりサイズを気にしなくてよい場合は必要ありませんが、キットとして販売された糸を使うときは、とても重要になります。パックに含まれる糸の量は、指定されたゲージによって算出されたものだからです。ゲージ段階の些細な違いは、ブランケット全体では膨大になります。

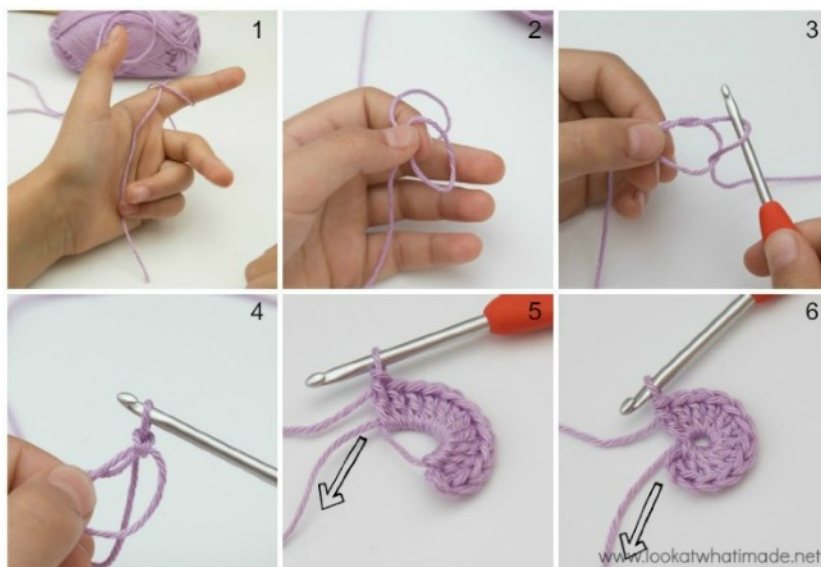
使える糸にかぎりがあるときは、CALが始まる前に、ゲージ用にパート1まで編んでみましょう。編み上がったモチーフのサイズが、情報ページのゲージに合っているか確認してください。また、パート1まで編むと、鎖編みのきつさのチェックもできます。

次に、パート3まで編んだときにチェックしてください。ゲージ通り（または、若干小さい）ならば、指定された糸の量で編み終わると思います。もし、サイズが大きかった場合、かぎ針サイズを下げて編み直したほうがよいでしょう（糸の追加購入が必要になる可能性があります）。この機会に編み目の高さについて知っておくのもよいでしょう。英語ではGolden Loop Methodといわれるもので、編み目の高さの低い順に、編み手のことを「ヤンカー、ライダー、リフター」と呼ぶことがあります。

マジック・リング Magic Ring

マジック・リング（輪に編み入れる手法）は、中心に穴が開かないので、とても便利です。この手法を使うときは、編みはじめに、糸端を十分長くとおきましょう。これを怠ると、せっかく編んだものが台無しになってしまうことがあります（「糸端のしまつをする」を参照）。

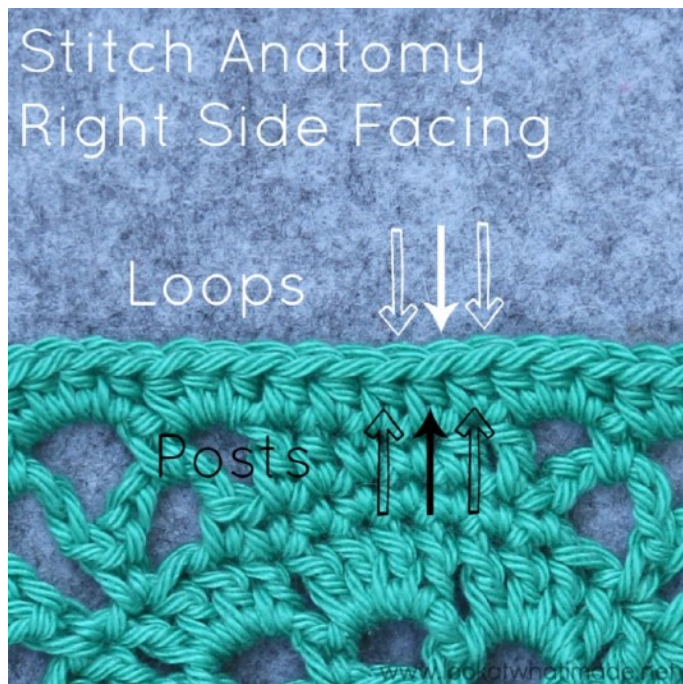
1. 写真のように、糸を左手（左利きのときは右手）の掌の上に渡し、薬指と小指で押さえます。人差し指の周りに時計回りに糸を巻きます。糸が交差してループができます。
2. ループを指からはずし、糸が交差している部分をつまみます。
3. ループの中にかぎ針を通し、糸をかけてループから引き抜きます。
4. かぎ針に糸をかけ、鎖編みを編みます。この鎖編みで糸がゆるまなくなります。
5. パターンにしたがって、わに残りの目を編みます。写真矢印の糸も一緒に編みます。
6. すべての目を編み入れたら、糸端を引いて、穴を小さくします。糸端の始末はしっかりとしましょう。



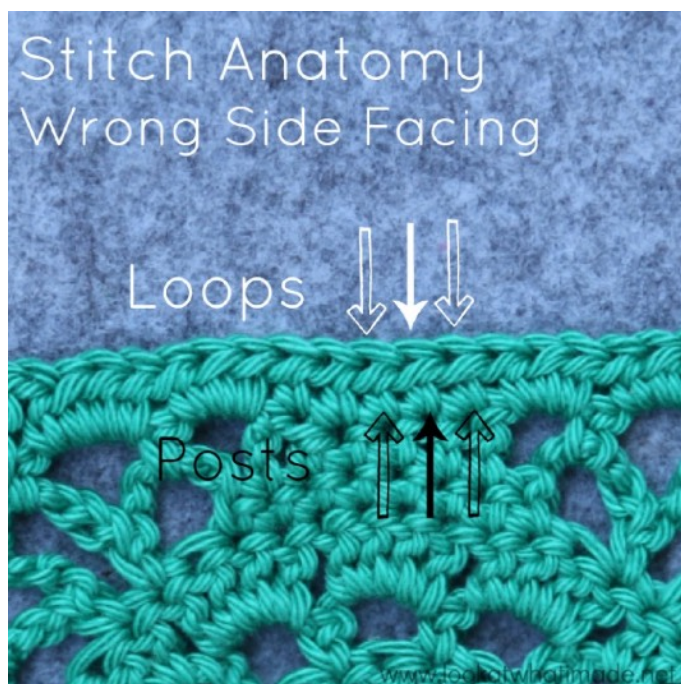
編み目の構造について Stitch Anatomy

編み目は、足（前段の目につながっている部分、英語では POST）と頭（編み目の上部に連なるV型の2本のループ部分、英語では LOOP）で構成されています。編みは始める前に、ループ（頭）や足がどの目のものであるかを理解しておくことが大事です。

表面をみながら編むときは、頭（Loops）は足（Posts）の右側にあります（左利きの場合は左側）。



裏面をみながら編むときは、頭（Loops）は足（Posts）の左側にあります（左利きの場合は右側）。

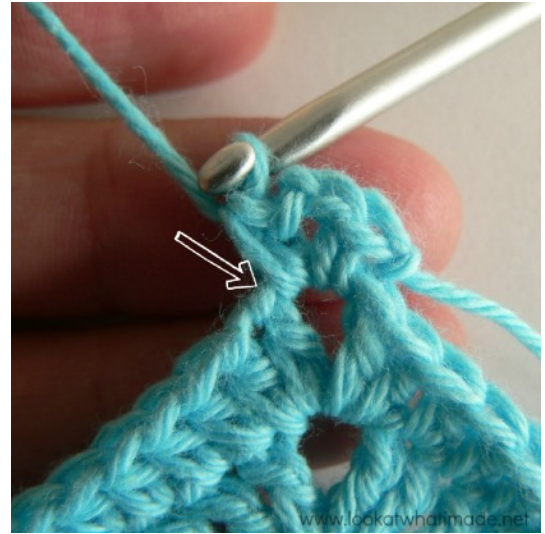


コーナーと隠れた（見えにくい）目 Corners and the Elusive Hidden Stitch

コーナー部分には、次の段で、複数の目が編み入れられることとなります。この場合、コーナーの鎖編みの直後の目のループ（頭）が見えにくくなります。

この最初の目を見逃してしまうと、その段の目数が合わなくなります。鎖編みの直後の目がよく見える場合もありますが、その場合でも、パターンには〈見えにくい、隠れた目〉と表現して、注意喚起をしています

直前に編んだ目を指でずらさないと、隠れた目に編めないこともあります。次の写真が示す鎖編みの直後の中長編みが、もっとも編みにくいケースです。なお、往復編みのときは、裏側を見ながら編むので、鎖編みの直後の目が隠されてしまうことは起こりません。



マーカーを使うこと Using Stitch Markers

パターンでは、ときどき、ステッチマーカーを使うように指示しています。目数を数えるための目印として使う場合と（目数を数えたらマーカーをはずします）、あとの段で使う目を示す場合です（外していいと指示があるまで、マーカーは付けたままにします）。マーカーをつけるときは、指定された目の両方のループ（または、指定された鎖編みスペース）につけてください。どのループにつけるかよくわからないときは、前述の「編み目の構造について」を参考にしてください。

ステッチマーカーを持っていない（あるいは、持っているが足りなくなった）場合は、写真のように、糸の切れ端で代用できます。

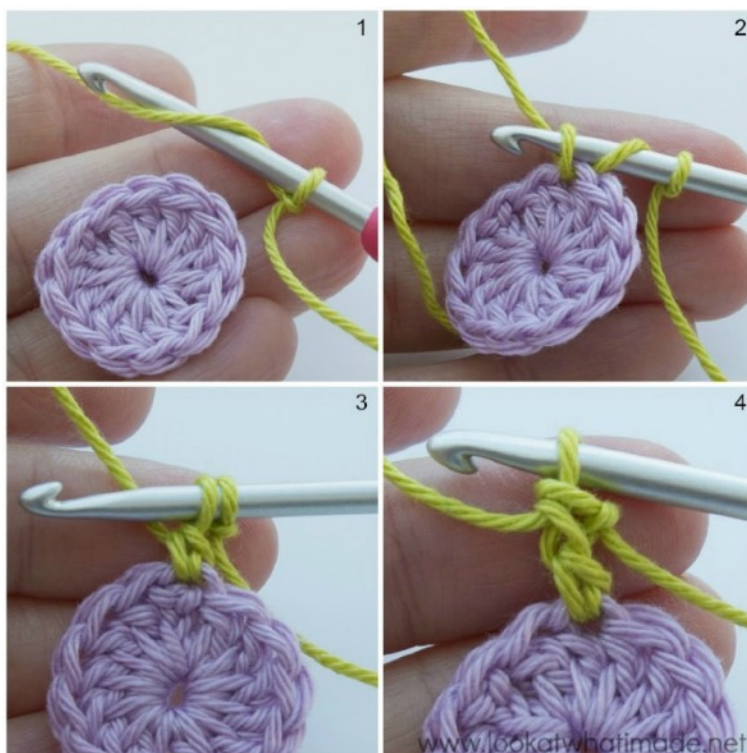


スタンディング編み Standing Stitches

スタンディング編みは、次の段を新しい色で編むときに使われます（前段の終わりの位置と異なる位置から編みはじめるときにも使われます）。スタンディング編みは、直前の目につながっていないこと以外は、通常の編み方とまったく同じです。かぎ針に目をつくり、人差し指で目を押えながら、通常の手順で編みます。

スタンディング長編みの手順を示します。

1. かぎ針に作り目をして、糸を1回かけます。
2. かぎ針を指定された目／スペースに入れます。右手の人差し指で（左利きの場合は左手の人差し指）作り目部分を押さえて回転しないようにしながら、かぎ針に糸をかけ、ループを引き出します {かぎ針に3本のループ}。
3. かぎ針に糸をかけて、2本のループを引き抜きます {かぎ針に2本のループ}。
4. かぎ針に糸をかけて、残っている2本のループを引き抜きます。



引き上げ編み Post Stitches

表引き上げ編み Front Post Stitches

1. 指定された目の足のまわりに、かぎ針を表から入れ、足の裏から表に出します。かぎ針の上足の部分が乗っている状態になります。
2. 通常の手順で目を編みます。



裏引き上げ編み Back Post Stitches

裏引き上げ編みは、表引き上げ編みより少し編みにくいですが、コツがわかれば問題なく編めます。きっと編み目が気に入ると思います。

1. 指定された目の足のまわりに、かぎ針を裏側から入れて、裏側に出します。かぎ針の後ろ側に足の部分が乗っている状態になります。
2. 通常の手順で目を編みます。

編地を手前側に倒すと、足を拾いやすくなります。



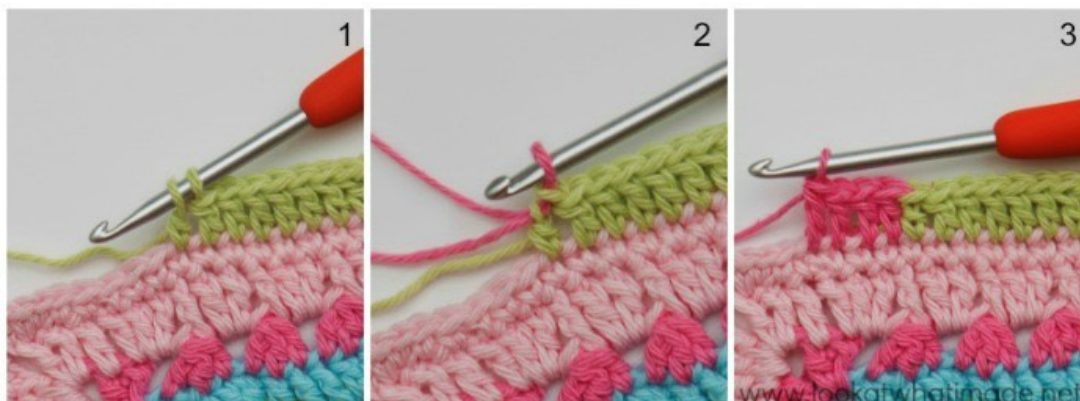
繰り返しの最後の省略 Omitting

段によっては、繰り返しの最後で、「～は編みません」という表記を目にするとお思います。この省略する部分は、繰り返しの前にすでに編んでいる部分に当たるので、繰り返しのなかで、編む必要はないという意味です。

色を替える Changing Colours

段の途中で色を替えるとき（1玉編み終えたとき）に使う手法を紹介します。一部分だけ別の色で編みたいときなど、糸を替えるタイミングを示します。

1. 色を替える目の直前の目の最後の部分から色を替えます。かぎ針に、直前の目のループが2本かかっている状態で色を替える準備をはじめます。
2. 新しい色の糸をかけて、古い色の2本のループを引き抜き、最後の目を完成させます。その後は通常通りに編みます。



段の最後でつなぐ Joining at the End of a Round/Row

1. 段の終わりに引き抜き編みでつなぐ目を確認してください。
2. その目やスペースにかぎ針を入れます。
3. 引き抜き編みをします。立ち上がりの鎖編みにつなぐとき、鎖編みの次の目に引き抜かないように注意してください。

引き抜き編みのかわりに、目立たないつなぎ方 (invisible join) をしてもよいです。ただ、使うときは、段の最後で、糸を引きしめ、次の段で色を替えることだけです。



糸を引きしめる Fastening Off

引き抜き編みでつないだときは、糸を10cmほど残して切ります。編み目から糸を引き抜いてください。糸端を始末します（「糸端のしまつをする」を参照）。

糸端のしまつをする Working Away Yarn Ends

残念なことです、何本もの糸端をすべて処理しないと作品は完成しません。レシピによっては、編み上げたあとに、糸端のしまつをするように書いてあるものもありますが、ここでは、編みながら、その都度、糸端のしまつをしていくことを勧めます。とじ針とハサミを用意してください。

とじ針に糸端を通します。編地の裏側から、少なくとも2.5cm以上の目に、針を通します。編地の裏側というのは、必ずしも各段を編むときの〈裏側〉ではないことに注意してください。編みはじめの輪（マジック・リング）の糸端をしまつするときは、輪に編み込んだ目の半分以上に糸を通してください【写真1】。

糸を引いたら、反対向きに、最初の目を飛ばして、とじ針をもとの位置まで同じ目に通します。最初の目を飛ばすと、糸がしっかり掛かります {写真2}。糸を引きます。確実に糸がゆるまないようにしたいときは、この手順をもう一度繰り返してください {写真3}。

編地の近くで糸を切ります。間違えて、編地を切らないように注意してください。この処理がきれいになると、表面から糸端が見えることはありません。



ブロッキング (ピン打ち) Blocking

このブランケットのデザインでは、必要だと感じたときのみ、軽めのブロッキングをしてください。

更新履歴

2021/8/13 corrected puff